

社会資本総合整備計画
「快適で暮らしやすい市街地の形成」
【平成23～27年度】

事後評価シート

- ・藤沢北部地区都市再生整備計画事業 (平成23～27年度)
- ・北部第二(三地区)((都)石川下土棚線外) (平成26～27年度)

平成29年3月

神奈川県藤沢市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	藤沢市	地区名	快適で暮らしやすい市街地の形成	面積	760.0ha						
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	7,426百万円								
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名											
		A基幹事業	都市再生整備計画事業	藤沢北部地区都市再生整備計画事業									
		B関連社会資本整備事業	なし										
		C効果促進事業	なし										
	当初計画から削除した事業	事業名						削除/追加の理由					
		A基幹事業	なし					-					
		B関連社会資本整備事業	なし					-					
	新たに追加した事業	A基幹事業	街路事業	北部第二(三地区)((都)石川下土棚線外)	新規事業の追加及び事業進捗によるもの		新たな指標4の追加						
		B関連社会資本整備事業	なし					-					
		C効果促進事業	なし					-					
交付期間の変更	当初	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし								
	変更	なし											
2) 社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	地区内での車輛移動時間に要する時間の割合	%	100	H23	60	H27		100	x	あり	全体の8割が用地取得できたが、一部の用地取得が遅れ、交通環境の改善が図れなかった。	-
	指標2	使用収益開始面積割合	%	20	H23	40	H27		60		あり	土地区画整理事業等により道路や宅地の整備と併せてライフラインについても総合的に整備され、良好な宅地の形成が図られた。	-
	指標3	地区内で拡大された認可区域における下水道の整備面積割合	%	0	H23	50	H27		58		あり	新たなまちづくりとして、下水道の整備を行い、誰もが安心・快適で暮らしやすい市街地の形成が図られた。	-
	指標4	土地区画整理事業により造成する宅地面積	ha	0	H25	5	H27		5		あり	都市計画道路「石川下土棚線」の整備に伴い、沿道街区の土地利用が図られた。	-
指標5										なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	その他の数値指標1	土地区画整理事業により整備する道路面積	ha	-	-				5		あり	区画整理事業により、狭あい道路の改善や新たな区画道路の築造によって、地区内の交通移動性の強化が図られた。	-
その他の数値指標2										なし			
4) 定性的な効果発現状況	・新産業の森北部地区土地区画整理事業において、7社の企業立地が決定し、新たな産業拠点の整備と雇用の創出が図られた。 ・葛原第二処分場の建設には、近隣自治会の意見を聴きながら整備を行ったことにより、広場がより身近に感じ地域交流の場となった。												
5) 実施過程の評価	実施内容						実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					実施した 実施しなかった						
	住民参加プロセス	なし					実施した 実施しなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					実施した 実施しなかった						

様式2 - 2 地区の概要

快適で暮らしやすい市街地の形成(神奈川県藤沢市)社会資本総合整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
目標:誰もが安心・活き活きと暮らし・働ける生活環境の中で、いつまでも住み続けたい魅力あふれるまち(生涯都市) 目標1:誰もが安心・快適で暮らしやすい市街地形成 目標2:地区内の交通移動性の強化 目標3:地域住民の健康増進	地区内での車輛移動時間に要する時間の割合	単位:%	100 H23	60 H27	100 H27
	使用収益開始面積割合	単位:%	20 H23	40 H27	60 H27
	地区内で拡大された認可区域における下水道整備面積割合	単位:%	0 H23	50 H27	58 H27
	土地区画整理事業により造成する宅地面積	単位:ha	0 H25	5 H27	5 H27
	土地区画整理事業により整備する道路面積	単位:ha			5 H27



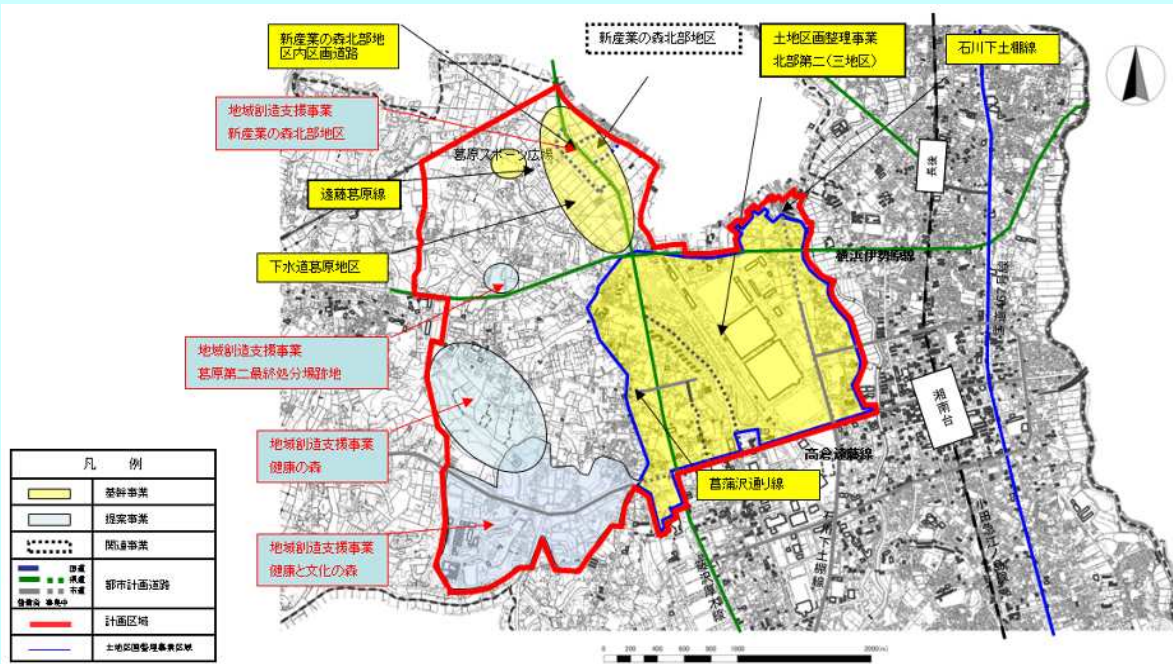
新産業の森北部地区内区画道路



下水道葛原地区



葛原第二最終処分場跡地



土地区画整理事業北部第二(三地区)



石川下土柵線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 課題1:災害時に広域避難場所まで安全にアクセスできるよう、狭あい道路の解消を図る必要がある。地区幹線道路(石川下土柵線)の部分開通ができ、アクセスの向上が図れたほか、沿道の道路整備をすすめ、狭あい道路の解消が図れたが、一部の道路事業が遅れたため、今後も交通環境の改善が課題である。 課題2:住工混在の解消による良好な生活環境の創出による定住意欲の向上や産業適地の創出による工場等の市外転出の防止を図ることが喫緊の課題となっている。土地区画整理事業や下水道事業等により、良好な居住環境の改善や新たな産業適地を創出するなど、住工混在の解消・産業の空洞化の防止が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 事業の完了に向け、効率的・効果的な事業推進を図る。